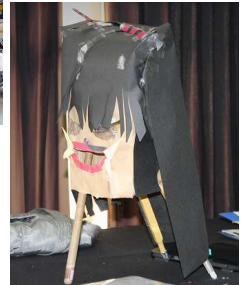


# 令和3年度「地域学校協働本部事業」 地域学校協働活動事業の成果と課題

## 「地域に根付く伝統芸能に触れる協働活動」(福島県喜多方市)

### 取組の概要や経緯

- 地域の抱える問題や悩みについて各公民館等に聞き取りを行ったところ、中村彼岸獅子保存会では、会員の高齢化や役員の交代により、継続的な保存・継承活動が課題となっていることが分かった。
- 中村地区のある松山小学校では、4年生の総合的な学習の時間に「ふるさとの宝物を発見しよう」という学習過程があり、題材となる事例を探していた。
- 保存会と学校のねらいが一致し、協働活動として取り組むことになった。



### 内容

- 総合的な学習の時間に、中村彼岸獅子に関する講演及び実演と演舞と太鼓の指導を行った。
- 児童が理解しやすい教材の準備や講演については、ノウハウのあるNPO法人民族芸能を継承するふくしまの会の協力を得た。
- 彼岸獅子の実演や演舞指導は保存会が行った。

### ポイント

- 総括的な地域学校協働活動推進員が橋渡し役となり、保存会、学校、NPO法人と週1回定期的に打合せを実施した。
- 講演で使用する資料は、児童に伝わるよう、推進員が資料作成のサポートをした。
- 児童と地域の繋がりが生まれた。

### 今後の方向性

- 松山小学校は、4年生を対象に継続的に伝統芸能に触れる活動を実施していく。
- 保存会は、継続して後継者育成を含め継承活動を実施していく。
- 小学生の獅子舞体験学習を契機に幅広い世代の参画が可能な継承活動(地域づくり)を目指していく。

### 成果

- 参加人数 21人(松山小学校の4年生)
- 児童は、演舞と太鼓などの体験により、伝統芸能への興味関心を持つことができた。
- 保存会は、児童に教えることにより、児童の学ぶ姿から継承の大切さに気づき、大人も学ぶ良い機会となった。